

令和 6 年 度

入 学 者 選 拔 要 項



〒960－1296

福島市金谷川 1 番地

☎024－548－8064（入試課）

<https://www.fukushima-u.ac.jp/>

福島大学
スマートフォン対応サイト



目 次

Ⅰ	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
Ⅱ	入学定員および募集人員	9
Ⅲ	出 願 資 格	10
Ⅳ	一 般 選 抜	
1	令和6年度福島大学入学者選抜の実施教科・科目等	11
2	一般選抜の日程について	12
3	一般選抜における主体性等評価および合格者決定方法について	20
4	一般選抜（前期日程および後期日程）における過去問題の 使用について	23
Ⅴ	総 合 型 選 抜	24
Ⅵ	学校推薦型選抜	32
Ⅶ	私費外国人留学生選抜	38
Ⅷ	そ の 他	
1	障がい等のある入学志願者の事前相談	42
2	不正行為の禁止について	42
3	入試情報の公開（開示）について	43
4	学生募集要項等の発表時期・請求方法	44
5	東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において 被災された方に対する検定料の免除について	46
6	令和7年度福島大学入学者選抜（令和6年度実施）の 見直しに関する予告について	47
7	その他	47
	○福島大学案内図	……本要項末

本学におけるすべての入試はインターネット出願のため、冊子での募集要項の配布は行いません。

詳細は、本学ウェブサイトの各募集要項をご覧ください。

「入試情報－募集要項」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>)

I アドミッション・ポリシー（入学受入方針）

福島大学の教育目標

福島大学は、正規課程および課外活動等のあらゆる機会を捉えて、自ら学び、主体的な人生設計と職業選択を行うことのできる自立した人間の育成をめざします。

また、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故からの学びを活かし、「新たな地域社会の創造」に取り組み、人口減少や高齢化、環境・資源・エネルギー問題などの地域および世界の「21世紀的課題」を自分事として捉え、複雑かつ困難な課題に果敢に挑戦する人材の育成を目標に掲げます。

そのために「問題基盤型学習」を教育理念としたカリキュラムを備え、確かな専門知識や技術、実践的なスキル、「解のない問い」に挑む態度などを身につけます。

福島大学の求める学生像（福島大学のアドミッション・ポリシー）

福島大学では、以下の要件を満たす学生を募集します。なお、「求める学生像」の具体的内容は、学類のアドミッション・ポリシー（AP）で示します。

1. 〈福島大学の教育目標〉を理解していること
2. 地域や社会の発展に貢献する志をもつこと
3. そのために、①選択した領域の専門知識、②問題を発見し探究する力、③広い教養と知的関心、④グローバルな視野、⑤主体的に多様な人々と協働する力、を自ら向上させようとする意欲があること
4. 福島大学での学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的学力、思考力・表現力・コミュニケーション能力、現実の問題や学問への能動的姿勢を持っていること

入学者選抜の基本方針

福島大学では、すべての学類の入学者選抜において、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下、「主体性等）」の「学力の3要素」を多面的・総合的に評価します。

学力の要素 評価方法	〈 学 力 の 3 要 素 〉				
	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主 体 性 等	
	知識・技能	思考力・判断力	表 現 力	意欲・関心・態度 (主 体 性)	協 働 性
大学入学共通テスト, 個別学力検査	○	○			
実技（実績評価）	○		○		
小論文, 課題論文, 課題レポート	○	○	○		
総合問題	○	○			
口頭試問, 面接	○	○	○	○	
集団討論		○	○		○
ポスタープレゼンテーション	○	○	○	○	
調査書				○	○
推薦書（学校）	○			○	
自己推薦書, 志願理由書			○	○	

総合型選抜と学校推薦型選抜では、下表に記した方法で、学力の3要素を評価します。

総合型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
人間発達文化学類 (芸術・表現コース)	小論文, 面接, 実技検査		面接
人間発達文化学類 (スポーツ健康科学コース)	実技実績調査書 (第1次選抜) 小論文, 面接, 実技実績評価 (第2次選抜)	小論文, 面接	面接
行政政策学類 (夜間主)	口頭試問		
経済経営学類	課題レポート (第1次選抜) 大学入学共通テスト (第3次選抜)	課題レポート (第1次選抜)	
		集団討論および面接 (第2次選抜)	
共生システム理工学類	ポスター内容 (第1次選抜) 総合問題 (第2次選抜)	ポスター内容 (第1次選抜)	志願理由書
	ポスタープレゼンテーション (第2次選抜)		
食農学類	自己推薦書 (第1次選抜), 課題論文 (第2次選抜)		面接 (第2次選抜)

学校推薦型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
人間発達文化学類	大学入学共通テスト, 面接		面接
行政政策学類	調査書 (評点), 小論文	小論文, 面接	面接
経済経営学類 (A 推薦)	調査書 (評点), 語学資格・検定基準	小論文, 面接	面接
経済経営学類 (B 推薦)	調査書 (評点), 簿記検定試験の合格	小論文, 面接	面接
共生システム理工学類	調査書 (評点), 小論文	小論文, 面接	面接

人文社会学群

〔人間発達文化学類〕

1. 人間発達文化学類の教育目標と求める学生像

人間発達文化学類では、生涯にわたる発達への支援や、人間の発達を支える社会・文化への支援を通じて、学校はもちろんのこと、行政や企業、地域社会で活躍することを目指す意欲を持ち、卒業までに次の4つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・人間の発達を支援する教育および文化についての専門知識や技術を習得し活用する力
- ・現代的課題や地域的課題への問題意識をもち、個々の事象を複数の観点から捉える力
- ・人や文化の多様性を理解し、共感的態度をもって価値観や考え方の違いを超えた関係を築く力
- ・学問固有の問いの立て方、ものの見方・考え方を身に付け、それらを活用しつつ社会の改善に向けて探究し表現する力

人間発達文化学類には、教育実践、心理学・幼児教育、特別支援・生活科学、芸術・表現、人文科学、数理自然科学、スポーツ健康科学の7つのコースがあり、1年生の前期（第1セメスター）から各コースのいずれかに所属することになります。

2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

〔一般選抜・前期日程〕	募集人員	154人
〔一般選抜・後期日程〕	募集人員	12人
〔総合型選抜〕	募集人員	20人
〔学校推薦型選抜〕	募集人員	74人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

各コースで養成する人間発達支援者は、人間に対する理解だけでなく、高校で学んだ人文科学や社会科学、生活科学、数理科学、芸術、スポーツなどの知識・技能を基に新たな知識や技術を身に付けます。本学類では、以下に挙げる知識・技能・関心を有している学生を求めます。

- (1) 高校時代までの基礎的な学力・実技能力
- (2) 得意分野に関する優れた理解・技能（以下のうち1つ以上）
 - ・得意な教科や領域の意味内容を良く理解している。
 - ・運動・スポーツにおける優れた技能・実績を有している。
 - ・音楽や美術において優れた技量を有している。
- (3) 教育・人間・文化・社会への問題意識、および人間発達支援に対する強い意志

〔行政政策学類〕

1. 行政政策学類の教育目標と求める学生像

行政政策学類では、21世紀の地域社会が直面している諸課題について、広く学際的な観点から学び、より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すために、卒業までに次の5つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。特に夜間主は、働きながら学ぶ人、様々な社会経験をもとに学びたいと考える人を対象とします。

- ・法・地域・行政・社会・文化等の研究分野に関する基礎的かつ専門的知識
- ・国・地域・社会における諸問題を自ら発見し、調査・分析する能力
- ・発見し、調査・分析した諸課題につき、解決する能力
- ・学際的な創造力で社会に貢献する応用的能力
- ・修得した知識・考察した結果を発表し、議論する能力

行政政策学類には、「地域政策と法コース」「地域社会と文化コース」の2コースがあり、2年生の前期（第3セメスター）からいずれかのコースに所属することになります。

2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

〔昼間の一般選抜・前期日程〕 募集人員 108人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

〔昼間の一般選抜・後期日程〕 募集人員 35人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

〔昼間の学校推薦型選抜〕 募集人員 42人

調査書（全体の学習成績の状況（評定平均値）4.3以上）、志願理由書（「法・地域・行政・社会・文化について関心がある者」）提出を推薦要件とし、個別学力検査（小論文）と面接によって実施。

〔夜間主の総合型選抜〕 募集人員 20人

志願理由書に基づいた口頭試問によって実施。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

21世紀の地域社会が直面している諸課題について、広く学際的な観点から学び、より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すための能力を大学において身に付けるために、以下に挙げる基礎的な知識・技能・関心を有している学生を求めます。

(1) 高校時代までの基礎的な学力（以下のうち1つ以上）

- ・国語、地歴公民、理科、数学、外国語について、修学に必要な知識を有している。
- ・上記科目のうち、いずれか3科目について、優れた知識を有している。

(2) 現代社会や地域の諸課題に関する理解力・思考力・分析統合力・表現力（以下のうち1つ以上）

- ・読書や論理的な文章を書く習慣に基づく長文の読解力
- ・政治、経済、社会的な問題などに関心を持ち、深く考察する態度
- ・意見交換によって解決策を考えだすための発言力あるいは論点整理力

〔経済経営学類〕

1. 経済経営学類の教育目標と求める学生像

経済経営学類では、経済と経営の専門知識を身に付け、現代の経済社会を理解し、課題解決に実践的に取り組む人材を養成することを目標とし、卒業までに次の知識および能力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- 経済学と経営学の専門知識
- エビデンスにもとづいて論理的に思考する力
- フィールドを通じて社会の課題に主体的に取り組む力
- グローバルに思考し実践に進む力
- キャリアを見据え自立し協働する力

経済経営学類には、「経済学コース」「経営学コース」の2コースがあり、2年生の後期（第4セメスター）からいずれかのコースに所属することになります。

2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

〔一般選抜・前期日程〕	募集人員	114人
〔一般選抜・後期日程〕	募集人員	40人
〔総合型選抜〕	募集人員	11人
〔学校推薦型選抜・A推薦〕	募集人員	25人
〔学校推薦型選抜・B推薦〕	募集人員	25人
〔私費外国人留学生選抜〕	募集人員	5人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

現代社会で起こっている様々な問題を経済・経営の視点でとらえる能力と、社会での実践力を大学において身につけるために、以下に挙げる基礎的な知識・技能・関心を有している学生を求めます。

(1) 高校時代までの基礎的な学力

：国語、地歴公民、理科、数学、外国語について、修学に必要な知識を有している。

(2) 読解力・思考力・知識活用力・表現力

(3) 現代社会で起こっている様々な問題に対する関心・意識と勉学意欲

(4) 得意分野に関する優れた学力・実績（学校推薦型選抜に該当）

：学校推薦型選抜では、上記の(1)・(2)・(3)に加え、以下の点を評価します。

●学校推薦型選抜（以下のうち1つ以上）

A推薦：英語等の外国語に関する優れた知識、ないし関連資格を有している。

B推薦：簿記に関連する優れた知識、ないし関連資格を有している。

理工学群

〔共生システム理工学類〕

1. 共生システム理工学類の教育目標と求める学生像

共生システム理工学類では、21世紀の社会が抱える諸課題に挑戦でき、人・産業・環境が共生する社会の構築に貢献できる人材を育成することを目標に掲げています。共生を科学する新しい教育・研究システムの下で、卒業までに次の4点を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- 幅広い理工学的基礎知識と確かな専門性
- 論理的で的確な立案力と決定力
- 学際的・国際的に実践する力
- 積極的かつ持続的な貢献意識

共生システム理工学類では、1年生で数学、物理学、化学、生物学、地球科学、プログラミング等の理工系の基礎科目を学ぶとともに、「共生の科学」などの科目で諸課題を学際的・システムの的に捉える力を養います。2年生の前期（第3セメスター）から専門領域を冠した9つのコース※の中から1つを選択して専門領域を深く学び、3年生の後期（第6セメスター）からは研究室に配属されて、演習や卒業研究を行います。

※9コース：数理・情報科学コース，経営システムコース，物理・システム工学コース，物質科学コース，エネルギーコース，生物環境コース，地球環境コース，社会計画コース，心理・生理コース

2. 入学試験の種類と内容

本学類では4種類の入学試験を実施します。それぞれの入学試験の科目などは以下のとおりです。

〔総合型選抜〕 募集人員 25人

高等学校までの学習全般を含む総合問題，自ら設定した課題についてのポスターを用いた発表と口頭による質疑，志願理由書および調査書により，高等学校の基礎的な学力，論理的な思考力のある人を選抜します。特に持続的な探求意欲と行動力のある人を期待します。

〔学校推薦型選抜〕 募集人員 23人

小論文，面接，志願理由書および調査書により，基礎学力，理解力，論理的な思考力と表現能力を持つ人を選抜します。調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上の人を対象としており，高等学校の間に勤勉な学習を重ねた人を期待します。

〔3年次編入学〕 募集人員 若干名

高等専門学校を卒業見込みの者を対象に，面接と提出書類（志願理由書，推薦書，調査書）により，本学類で学ぶために必要な基礎的な学力をもち，学習意欲が高い人を選抜します。

〔一般選抜〕 募集人員 前期日程70人，後期日程42人

理科1科目および数学（前期）または数学（後期）の記述試験による個別学力検査，大学入学共通テスト（5教科7科目）および調査書により，基礎的な科目を広く習得し，理系科目の柔軟な思考力と応用力がある人を選抜します。

3. 入学選抜の際に求める知識・技能・関心

本学類で学び成長するために、以下に掲げる力を有している学生を求めます。

- (1) 高校までに身につけるべき基礎学力
- (2) 論理的な思考力
- (3) 自然現象や様々な課題を観察し分析する力
- (4) 観察し分析した結果や自らの考えを表現する力

農学群

〔食農学類〕

1. 食農学類の教育目標と求める学生像

食農学類では、食品産業や農林業の第一線で活躍することや、行政や教育機関などで食品産業や農林業を支えることを目指す意欲を持ち、卒業までに次の4つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・農学の専門知識を関連産業や地域社会の実践的な取り組みにつなげる力
- ・異なる専門分野との学際的な交流によってチームプレイを推進できる力
- ・グローバルな科学的知見や国際比較の情報を地域の課題解決に活かす力
- ・温かい眼差しと冷静な分析力によって地域社会への貢献を持続できる力

食農学類では、2年生の後期（第4セメスター）から、食品科学コース、農業生産学コース、生産環境学コース、農業経営学コースのいずれかに所属することになります。各コースは、次のような基礎的・専門的な知識と能力を身に付けた人材の養成を目標としています。

- ・食品科学コース：食品の分析について専門的な知識・技能を身に付けている。優れた食品の製造について知識・技能のポイントを修得するとともに、地域の食の伝統的な強みを活かす筋道を具体的に理解している。
- ・農業生産学コース：果樹・園芸等を含めて作物学の専門的な知識・技能を修得している。病虫害管理や土壌肥料の原理を学ぶことにより、安全な作物生産や環境保全型農業の基本課題を深く理解している。
- ・生産環境学コース：森林・農地・水利施設等の生産環境の実態を把握し、管理・活用システムを体系的に理解している。生産環境の修復やICT等の最先端技術導入などの実践的な課題に取り組むこともできる。
- ・農業経営学コース：農林業や食品産業の活動を社会科学の観点から分析する知識・技能を修得している。農商工連携などの新潮流の情報に詳しく、協同組合や共有資源の役割についても深く理解している。

2. 入学試験の種類と内容

食農学類では期待する人材を求めて、4種類の入学試験を実施いたします。

それぞれの入学試験の科目などは以下のとおりです。

〔一般選抜・前期日程〕 募集人員 60人

大学入学共通テストの5教科7科目（国語、地理歴史・公民（1科目）、数学（2科目）、

理科（２科目）、外国語）、個別学力試験の２科目（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ・数学Ｂ）、英語から２科目選択）で実施。

〔一般選抜・後期日程〕 募集人員 20人

大学入学共通テストの５教科７科目（国語、地理歴史・公民（１科目）、数学（２科目）、理科（２科目）、外国語）、個別学力試験の１科目（数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ・数学Ｂ）、英語から１科目選択）、および面接で実施。

〔総合型選抜・地域社会貢献枠〕 募集人員 概ね10人

自己推薦書と調査書によって第１次選抜を行い、第１次選抜合格者を対象として課題論文と面接による第２次選抜を実施。

福島県内の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内の農業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等の次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者、あるいは福島県外の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内か出身県内の農業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等で次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者で、指定する資格のいずれかを取得している者を対象とします。

〔総合型選抜・実践教育経験枠〕 募集人員 概ね10人

自己推薦書と調査書によって第１次選抜を行い、第１次選抜合格者を対象として課題論文と面接による第２次選抜を実施。

高等学校専門学科（農業、工業、商業、情報、水産、家庭、看護、福祉に関する学科）、総合学科、あるいは中等教育学校専門学科（農業、工業、商業、情報、水産、家庭、看護、福祉に関する学科）を卒業見込みの者、または高等専門学校の第３学年を修了見込みの者で、農学を学ぶ強い意欲を持ち、かつ指定する資格のいずれかを取得している者を対象とします。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

本学類での成長を実現するために、以下に掲げる力を有している学生を求めます。

- (1) 高校までに身に付けるべき基礎学力
- (2) 対象を的確に捉える理解力と分析力
- (3) 論理的な思考力
- (4) 自らの見解を的確に伝える表現力
- (5) 常に食と農に関心を寄せる持続力

Ⅱ 入学定員および募集人員

単位：人

学群	学 類	コ ー ス 等	入学 定員	募 集 人 員				
				一 般 選 抜		総合型選抜	学校推薦型 選 抜	私費外国人 留学生選抜
				前期日程	後期日程			
人文社会学群	人間発達 文化学類	教育実践コース	260	15	A系 6		14	各コース 若干名
		心理学・幼児教育コース		20			7	
		特別支援・生活科学コース		12			13	
		芸術・表現コース		12		8	8	
		人文科学コース		60	B系 6		15	
		数理自然科学コース		15			11	
		スポーツ健康科学コース		20		12	6	
		小 計		154	12	20	74	
	行政政策 学類	昼 間 地域政策と法コース 地域社会と文化コース	185	108	35		42	若干名
		夜間主 地域政策と法コース 地域社会と文化コース	20			20		
		小 計	205	108	35	20	42	若干名
	経済経営 学類	経済学コース 経営学コース	220	114	40	11	A推薦 25	5
							B推薦 25	
理工学群	共生シ ステム 理工学類	数理・情報科学コース 経営システムコース 物理・システム工学コース 物質科学コース エネルギーコース 生物環境コース 地球環境コース 社会計画コース 心理・生理コース	160	70	42	25	23	若干名
		食品科学コース 農業生産学コース 生産環境学コース 農業経営学コース						
農学群	食農学類	食品科学コース 農業生産学コース 生産環境学コース 農業経営学コース	100	60	20	20		若干名
合 計			945	506	149	96	189	5

【注意事項】

人間発達文化学類

- (1) 人間発達文化学類の総合型選抜および学校推薦型選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- (2) 人間発達文化学類一般選抜後期日程入学者の所属コースは、入学手続の際、合格した系の中の希望するコースに決定します。

行政政策学類

- (1) 行政政策学類の学校推薦型選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- (2) 行政政策学類入学者の所属コースは、1年次後期に本人の希望を考慮して決定します。

経済経営学類

- (1) 経済経営学類の総合型選抜、学校推薦型選抜および私費外国人留学生選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- (2) 経済経営学類入学者の所属コースは、2年次前期に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。

共生システム理工学類

- (1) 共生システム理工学類の総合型選抜では、合格者が募集人員に満たない場合があります。
- (2) 共生システム理工学類の総合型選抜および学校推薦型選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は原則として一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- (3) 共生システム理工学類入学者の所属コースは、1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。

食農学類

- (1) 食農学類の総合型選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- (2) 食農学類入学者の所属コースは、2年次前期終了時に決定します。

Ⅲ 出 願 資 格

一般選抜に出願することができる者は、次のいずれかに該当し、かつ、令和6年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目をすべて受験した者※¹とします。

総合型選抜、学校推薦型選抜および私費外国人留学生選抜については、該当の項を参照してください。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和6年3月に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和6年3月に修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および令和6年3月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和6年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和6年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による資格検定試験に合格した者を含む。）および令和6年3月31日までに合格見込みの者で、令和6年3月31日までに18歳に達する者（平成18年4月1日に生まれた者を含む。）
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和6年3月31日までに18歳に達する者（平成18年4月1日に生まれた者を含む。）※²

※1 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目については、13～19ページのとおりです。各学類・試験日程（人間発達文化学類前期日程はコース）ごとに指定された教科・科目を受験していない場合は、出願資格を有しないこととなりますので注意してください。

大学入学共通テスト「外国語」において、「英語」を選択する場合は、「リスニング」の免除を許可された場合を除き、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。「リーディング」または「リスニング」のどちらかしか受験していない場合は、「英語」を受験しなかったものとして取り扱いますので注意してください。

※2 出願資格の(3)⑥により出願を希望する者は、個別審査を行いますので、本学所定の申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、令和5年8月31日(木)〔午後5時必着〕までに提出してください。

なお、大学入学共通テスト出願後に、一般選抜の志望大学を本学に変更し出願する者は、令和6年1月10日(水)〔午後5時必着〕までに申請書、必要書類を提出してください。

個別審査の申請に必要な書類については、本学入試課へ問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)を参照してください。

Ⅳ 一 般 選 抜

1 令和6年度福島大学入学者選抜の実施教科・科目等

〔13ページ以降の各学類の表における教科・科目名の表記について〕

(1) 大学入学共通テストの出題教科・科目名は、次のように略しています。

(個別学力検査の出題教科・科目名についても同様に略しています。)

- 国語 → 国
『国語』 → 「国」
- 「地理歴史」 → 地歴
「世界史A」 → 「世A」, 「世界史B」 → 「世B」
「日本史A」 → 「日A」, 「日本史B」 → 「日B」
「地理A」 → 「地理A」, 「地理B」 → 「地理B」
- 「公民」 → 公民
「現代社会」 → 「現社」
「倫理」 → 「倫」
「政治・経済」 → 「政経」
『倫理, 政治・経済』 → 「倫政経」
- 数学 → 数
「数学Ⅰ」 → 「数Ⅰ」
『数学Ⅰ・数学A』 → 「数Ⅰ・数A」
「数学Ⅱ」 → 「数Ⅱ」
『数学Ⅱ・数学B』 → 「数Ⅱ・数B」
『簿記・会計』 → 「簿」
『情報関係基礎』 → 「情報」
- 理科 → 理
「物理基礎」 → 「物基」
「化学基礎」 → 「化基」
「生物基礎」 → 「生基」
「地学基礎」 → 「地学基」
「物理」 → 「物」
「化学」 → 「化」
「生物」 → 「生」
「地学」 → 「地学」
- 外国語 → 外
『英語』 → 「英」
『ドイツ語』 → 「独」
『フランス語』 → 「仏」
『中国語』 → 「中」
『韓国語』 → 「韓」

(注) 『 』 は、大学入学共通テストにおける2つの科目を総合したものまたは2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出願科目です。

- (2) 個別学力検査の出題教科・科目名は、上記(1)と同様に略すほか、次のように略しています。
「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」
- (3) 一般選抜における大学入学共通テストの利用教科・科目名、個別学力検査等、配点等は13～19ページのとおりで。

2 一般選抜の日程について

- (1) 出願期間
令和6年1月22日(月)～2月2日(金)
- (2) 選抜期日
前期日程 令和6年2月25日(日)、26日(月)
後期日程 令和6年3月12日(火)
- (3) 合格発表日
前期日程 令和6年3月6日(水)
後期日程 令和6年3月20日(水・祝)

○各学類の一般選抜の選抜方法

【一般選抜】人間発達文化学類

コ ー ス		日 程 募集人員	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等		個 別 学 力 検 査 等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
		教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	試験の区分	国 語	地 歴、 公 民	数 学	理 科	外 国 語	実 技 検 査	小 論 文	表現基 礎検査	配 点 合 計	主体性等 評価		
教育実践コース	前期日程 15人	国 地歴、公民 理	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫政経から1または2 〈選択①：「地歴」、「公民」から1科目選択する場合〉 物基、化基、生基、地学基から2および物、化、生、地学から1 または 物、化、生、地学から2 〈選択②：「地歴」、「公民」から2科目選択する場合〉 物基、化基、生基、地学基から2 または 物、化、生、地学から1 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1 英、独、仏、中、韓から1 数 外	その他	小論文	共通テスト	200	200 100	200	100 200	200				900			
						個別学力検査等						400						
				計										1300				
				主体性等評価											※ 30			
心理学・幼児教育コース	前期日程 20人 (小論文12) (表現基礎 検査8)		〈選択①〉 〔5教科7科目〕または〔5教科8科目〕 〈選択②〉 〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、 〔6教科7科目〕または〔6教科8科目〕	その他	小論文 表現基礎検査 } から1 ※保育士資格取得を希望する者 は表現基礎検査を、保育士資 格取得を希望しない者は小論 文を選択してください。	共通テスト	200	200 100	200	100 200	200				900			
						個別学力検査等					(400)	(400)	400					
				計										1300				
				主体性等評価											※ 30			
特別支援・生活科学コース	前期日程 12人			その他	小論文	共通テスト	200	200 100	200	100 200	200				900			
						個別学力検査等					400			400				
				計										1300				
				主体性等評価											※ 30			
芸術・表現コース	前期日程 12人 (音楽6) (美術6)			その他	実技検査 (音楽) } から1 実技検査 (美術)	共通テスト	200	200 100	200	100 200	200				900			
						個別学力検査等					600			600				
				計										1500				
				主体性等評価											※ 30			

コ ー ス		日 程 募集人員	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等		個 別 学 力 検 査 等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
			教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	試験の区分	国 語	地 歴 公 民	数 学	理 科	外 国 語	実 技 検 査	小 論 文	表現基 礎検査	配 点 合 計	主体性等 評 価	
人文科学コース		前期日程 60人 (国語20) (英語20) (小論文20)	国 地歴、公民 理	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫政経から1または2 〈選択①〉：「地歴」「公民」から1科目選択する場合) 物基、化基、生基、地学基から2および物、化、生、地学から1 または 物、化、生、地学から2 〈選択②〉：「地歴」「公民」から2科目選択する場合) 物基、化基、生基、地学基から2 または 物、化、生、地学から1 数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅰ・数Aから1 数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅰ・数B、簿、情報から1 英、独、仏、中、韓から1	国語	国語 (国語総合・現代文B・古典B)	共通テスト	200	200	200	100	200	200			900		
					外国語	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)		個別学力検査等	(400)	(400)			400					
					その他	小論文	計										1300	
					主体性等評価													
数理自然科学コース		前期日程 15人		数学	数学 A・数B	共通テスト	200	200	200	100	200	200				900		
				個別学力検査等					400						400			
				計											1300			
				主体性等評価														
スポーツ健康科学コース		前期日程 20人		その他	実技検査 (スポーツ)	共通テスト	200	200	200	100	200	200				900		
				個別学力検査等						600						600		
				計												1500		
				主体性等評価														
A系 B系		後期日程 12人 (A系6) (B系6)		その他	小論文	共通テスト	200	200	200	100	200	200				900		
				個別学力検査等							200					200		
				計												1100		
				主体性等評価														

【コース】欄

○ 後期日程について

① 次の2受験区分で募集を行います。

A系：本人の希望により、教育実践、心理学・幼児教育、特別支援・生活科学、芸術・表現の各コースのいずれかに所属します。

B系：本人の希望により、人文科学、数理自然科学、スポーツ健康科学の各コースのいずれかに所属します。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

○ 前期日程・後期日程について

① a. 「地理歴史」「公民」から2科目、「理科」の「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合、それぞれの「第1解答科目」の2科目と「第2解答科目」の2科目と「第3科目を判定に用います。

b. 「地理歴史」「公民」から2科目、「理科」の「基礎を付していない科目」から1科目を受験した場合、「地理歴史」「公民」の「第1解答科目」と、その他の3科目から高得点の2科目、

合計3科目を判定に用います。

② 「地理歴史」を2科目選択する場合は、同一名称のA・B科目、「公民」を2科目選択する場合は、同一名称を含む科目同士の選択はできません。

③ 「理科」を2科目選択する場合は、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。

④ 「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答することができるときは、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

⑤ 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します。（リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります。）

⑥ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和6年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【個別学力検査等】欄

(1) 前期日程について

① 「数学」の「数Ⅲ」は「極限・微分法・積分法」、「数Ⅱ」は「数列」、「ベクトル」とします。

② 「外国語」の「英語」については、「音声内容」は含みません。

③ 「表現基礎検査」については、作文、歌、造形等により、保育者になるための資質をみます。

④ 心理学・幼児教育コースで小論文を選択し合格した者は、保育士資格を取得することはできません。また、保育士資格取得を希望する者は、公認心理師カリキュラムを履修できません。

(2) 後期日程について

① A系合格者で心理学・幼児教育コースを選択した者は、公認心理師カリキュラムは履修可能ですが、保育士資格を取得することはできません。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

○ 前期日程・後期日程について

① 配点に（ ）を付してある教科は、選択教科を表します。

② 「地理歴史」「公民」「理科」について

上段は、「地理歴史」「公民」から2科目が用いられた場合の配点を表します。

下段は、「理科」から2科目が用いられた場合の配点を表します。

③ 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、配点（200点満点）に圧縮して利用します。

リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点（200点満点）に換算して利用します。

「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

④ 募集人員と受験者数の状況によっては、A選考・B選考に分けず、すべての受験者について、大学入学共通テストと個別学力検査等の得点に主体性等評価の得点を加えた合計点で合格を決定する場合があります。

※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和6年度一般選抜（前期日程・後期日程）における調査書を用いた主体性等評価は行いません。

【一般選抜】行政政策学類

コ　　ー　　ス	日　程 募集人員	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等		個　別　学　力　検　査　等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
		教科	科　目　名　等	教科等	科　目　名　等	試験の区分	国　語	地　歴	公　民	数　学	理　科	外国語	小論文	配　点 合　計	主体性等 評価
地域政策と法コース 地域社会と文化コース	前期日程 108人	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理Bから1 現社、倫、政経、倫政経から1 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ、数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地学基から2 または 物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1	その他	小論文	共通テスト	150	75	75	100	50	150		600	
						個別学力検査等						200			
						計						800			
						主体性等評価 【B選考のみ加算】								※　20	
		後期日程 35人		〔6教科7科目〕または〔6教科8科目〕	その他	小論文	共通テスト	☆100	☆100	☆100	☆100	☆100		300	
						個別学力検査等						100	100		
						計							400		
						主体性等評価 【B選考のみ加算】									※　10

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

- (1) 前期日程について
- ① 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
 - ② 「理科」については、
a. 「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。
b. 「基礎を付した科目」2科目および「基礎を付していない科目」1科目を受験している場合は、どちらか高得点の科目「基礎を付した科目」の場合2科目の合計点）を判定に用います。
c. 「理科」を2科目選択する場合は、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。
 - ③ 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します。（リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります。）
 - ④ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和6年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。
- (2) 後期日程について
- ① 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等に☆印を付し付しある〔6教科7科目〕または〔6教科8科目〕のうち高得点の〔3教科3科目〕または〔3教科4科目〕を用います。各教科、科目ごとの注意事項は以下のとおりです。
 - ② 「地理歴史」、「公民」は、2教科2科目の受験が必要ですが、判定には第1解答科目（1教科1科目のみ）を用います。
 - ③ 「数学」については、「数学①」と「数学②」をそれぞれ1科目として扱うので、「数学①」と「数学②」が高得点の〔3教科3科目〕または〔3教科4科目〕に該当する場合は、どちらか高得点の科目を判定に用います。
 - ④ 「数学①」…数Ⅰ・数A 「数学②」…数Ⅱ、数B、簿、情報
 - ⑤ 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
 - ⑥ 「理科」については、
a. 「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。
b. 「基礎を付した科目」2科目および「基礎を付していない科目」1科目を受験している場合は、どちらか高得点の科目「基礎を付した科目」の場合2科目の合計点）を判定に用います。
c. 「理科」を2科目選択する場合は、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。
 - ⑦ 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します。（リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります。）
 - ⑧ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和6年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- (1) 前期日程について
- ① 「国語」については、得点を、配点（150点満点）に圧縮して利用します。
 - ② 「地理歴史」、「公民」については、それぞれの得点を配点（75点満点）に圧縮して利用します。
 - ③ 「数学」については、「数学①」と「数学②」の合計得点を配点（100点満点）に圧縮して利用します。
〔「数学①」…数Ⅰ・数A 「数学②」…数Ⅱ、数B、簿、情報〕
 - ④ 「理科」については、得点を配点（50点満点）に圧縮して利用します。
 - ⑤ 「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、配点（150点満点）に圧縮して利用します。
リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点（150点満点）に換算して利用します。
「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点を配点（150点満点）に換算して利用します。
- (2) 後期日程について
- ① 「国語」については、得点を、配点（100点満点）に圧縮して利用します。
 - ② 「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、配点（100点満点）に圧縮して利用します。
リスニングを免除された場合は、リーディングの得点をそのまゝ利用します。
 - ③ 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点を配点（100点満点）に換算して利用します。

※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和6年度一般選抜（前期日程・後期日程）における調査書を用いた主体性等評価は行いません。

【一般選抜】経済経営学類

コ ー ス	日 程 募集人員	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等			個 別 学 力 検 査 等						大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等				
		教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	試験の区分	国 語	地 歴、 公 民	学 理	外 国 語	小 論 文	配 点 合 計	主 体 性 等 評 価		
経済学コース 経営学コース	前期日程 114人	国 地歴、公民	国 世B、日B、地理Bから2 または 世B、日B、地理Bから1および現社、倫、政経、倫政経から1 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物理、化基、生基、地学基から2 または 物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1	外国語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） から1 小論文	共通テスト	200	400 200	200 400	100	200	1100			
		数 理		その他		個別学力検査等				(400)	(400)	400			
		外				計						1500			
			〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、 〔6教科7科目〕または〔6教科8科目〕	外国語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） から1 小論文	共通テスト	200	200	200	100	200	900			
	後期日程 40人			その他		個別学力検査等				(200)	(200)	200			
						計						1100			
						主 体 性 等 評 価 【B選考のみ冊録】							※ 30		

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

- 前期日程・後期日程について
- ① 「地理歴史」、「公民」については、2科目のうち少なくとも1科目は、「世界史B」、「日本史B」、「地理B」より選択することとします。
 - ② 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
 - ③ 「理科」については、
 - a. 「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。
 - b. 「基礎を付した科目」2科目および「基礎を付していない科目」1科目を受験している場合は、どちらか高得点の科目（「基礎を付した科目」の場合は2科目の合計点）を判定に用います。
 - c. 「理科」を2科目選択する場合は、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。
 - ④ 「外国語」については、リーディングおよびリスニングを課します。（リスニングの得点を200点満点に、リーディングの得点を250点満点）に換算して利用します。
 - ⑤ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和6年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【個別学力検査等】欄

- 前期日程・後期日程について
- ① 「外国語」については、「音声内容」は含みません。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- (1) 前期日程について
- ① 配点に（ ）を付してある教科は、選択教科を表します。
 - ② 「地理歴史」、「公民」の合計得点と「数学」2科目の合計得点とを比較し、合計得点の高い2科目について傾斜配点します。
上段は、「地理歴史」、「公民」の合計得点の方が高い場合で、「地理歴史」、「公民」の得点をそれぞれ2倍にした場合の配点を表します。
下段は、「数学」2科目の合計得点の方が高い場合で、「数学」2科目の得点をそれぞれ2倍にした場合の配点を表します。
 - ③ 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、配点（200点満点）に圧縮して利用します。
リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点（200点満点）に換算して利用します。
「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。
- (2) 後期日程について
- ① 配点に（ ）を付してある教科は、選択教科を表します。
 - ② 大学入学共通テスト「外国語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、配点（200点満点）に圧縮して利用します。
リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点（200点満点）に換算して利用します。
「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和6年度一般選抜（前期日程・後期日程）における調査書を用いた主体性等評価は行いません。

【一般選抜】共生システム理工学類

コ　　ー　　ス	日 程 募集人員	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等		個　別　学　力　検　査　等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
		教科	科　目　名　等	教科等	科　目　名　等	試験の区分	国　語	地　歴、 公　民	数　学	理　科	外　国語	配　点 合　計	主体性等 評　価 一　冊		
教理・情報科学コース 経営システムコース 物理・システム工学コース 物質科学コース エネルギーコース 生物環境コース 地球環境コース 社会計画コース 心理・生理コース	前期日程 70人	国 地歴、公民 数	国 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫政経から1 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物、化、生、地学から2 または 物基、化基、生基、地学基から2および物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1	理科 数学	物基・物、化基・化、生基・生から1 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B	共通テスト	200	100	200	200	200	900			
					個別学力検査等				200	200	400				
					計						1300				
					主体性等評価 【B選考のみ冊録】							※ 3冊			
				数学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B	共通テスト	200	100	200	200	900				
	後期日程 42人				個別学力検査等				300		300				
				計					1200						
			主体性等評価 【B選考のみ冊録】					※ 3冊							

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

- 前期日程・後期日程について
- ① 「地理歴史」、「公民」から2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。
- ② 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- ③ 「理科」については、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。
- ④ 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します。（リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります。）
- ⑤ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和6年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【個別学力検査等】欄

- (1) 前期日程について
- ① 「理科」の「物理」、「化学」、「生物」については、全領域とします。
- ② 「数学」の「数B」については、「数列」、「ベクトル」とします。
- (2) 後期日程について
- ① 「数学」の「数B」については、「数列」、「ベクトル」とします。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- 前期日程・後期日程について
- ① 「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、配点（200点満点）に圧縮して利用します。
- リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点（200点満点）に換算して利用します。
- 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和6年度一般選抜（前期日程・後期日程）における調査書を用いた主体性等評価は行いません。

【一般選抜】食農学類

コ ー ス	日 程 募集人員	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等			個 別 学 力 検 査 等					大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等				
		教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	試験の区分	国 語	地 歴、 公 民	数 学	理 科	外 国 語	面 接	配 点 計	主体性等 評価 一 冊
食品科学コース 農業生産学コース 生産環境学コース 農業経営学コース	前期日程 60人	国 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫政経から1 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、簿、情報から1 理 物、化、生、地学から2 または 物基、化基、生基、地学基から2および物、化、生、地学から1 外 英、独、仏、中、韓から1	理科	物基・物 化基・化 生基・生 数学（数I・数II・数A・数B） 英語（コミュニケーション英語I・ コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・ 英語表現I・英語表現II）	から2	共通テスト	200	100	200	200	200		900	
				数学 外国語		個別学力検査等			(200) (200)	(200) (200)	(200)		400	
	後期日程 20人		〔5教科7科目〕または〔5教科8科目〕			計							1300	
				数学 外国語	数学（数I・数II・数A・数B） 英語（コミュニケーション英語I・ コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・ 英語表現I・英語表現II）	主体性等評価 1冊 ※ 39 選考のみ冊数								
				数学 外国語	数学（数I・数II・数A・数B） 英語（コミュニケーション英語I・ コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・ 英語表現I・英語表現II） 面接	共通テスト	200	100	200	200	200		900	
						個別学力検査等			(200)	(200)	(200)	100	300	
						計							1200	

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

- 前期日程・後期日程について
- ① 「地理歴史」、「公民」から2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。
 - ② 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限りです。
 - ③ 「理科」については、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。
 - ④ 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します。（リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります。）
 - ⑤ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和6年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【個別学力検査等】欄

- (1) 前期日程について
- ① 「理科」の「物理」、「化学」、「生物」については、全領域とします。
 - ② 「理科」については、物基・物、化基・化、生基・生から2科目の選択も可能です。
 - ③ 「数学」の「数B」については、「数列」、「ベクトル」とします。
 - ④ 「外国語」の「英語」については、「音声内容」は含みません。
- (2) 後期日程について
- ① 「数学」の「数B」については、「数列」、「ベクトル」とします。
 - ② 「外国語」の「英語」については、「音声内容」は含みません。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- (1) 前期日程について
- ① 配点に（ ）を付してある教科は、選択教科・科目を表します。
 - ② 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、配点（200点満点）に圧縮して利用します。
リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点（200点満点）に換算して利用します。
「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。
- (2) 後期日程について
- ① 配点に（ ）を付してある教科は、選択教科・科目を表します。
 - ② 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、配点（200点満点）に圧縮して利用します。
リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点（200点満点）に換算して利用します。
「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和6年度一般選抜（前期日程・後期日程）における調査書を用いた主体性等評価は行いません。

3 一般選抜における主体性等評価および合格者決定方法について

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和6年度一般選抜（前期日程・後期日程）における調査書を用いた主体性等評価は行いません。このため、合否判定は主体性等評価の配点を除いた総点で行います。

人間発達文化学類

(1) 個別学力検査等について

① 前期日程

教育実践コースおよび特別支援・生活科学コースは小論文（※1）の試験を行います。

心理学・幼児教育コースは小論文（※1）または表現基礎検査（※2）の試験を行います。

芸術・表現コースは実技検査（※3）を行います。

人文科学コースは国語または英語（※4）または小論文（※1）の試験を行います。

数理自然科学コースは数学（※5）の試験を行います。

スポーツ健康科学コースは実技検査（※3）を行います。

※1 小論文は、資料を与え、1,200字程度で論述させ、理解力・思考力・表現力等を総合的にみます。

※2 「表現基礎検査」は作文、歌、造形等により、保育者になるための資質をみます。なお、楽器の演奏は求めません。当日着替えの時間を設けますので、動きやすい服および上靴を持参してください。

※3 実技検査の範囲は次ページのとおりです（詳細については、11月中旬発表予定の学生募集要項に記載します）。

※4 「英語」については、「音声内容」は含みません。

※5 「数学」の「数Ⅲ」は「極限・微分法・積分法」, 「数B」は「数列」, 「ベクトル」とします。

実 技 検 査 の 範 囲		
芸術・表現コース	音楽	音楽実技は、楽典（音楽史は含みません。）をすべての受験者に課します。さらに、ピアノ、声楽、任意の楽器（鍵盤楽器以外）、作曲、音楽に関する記述問題の5つの科目から2つ（1つを主科目にし、もう1つを副科目にする。）を出願時に選択します。 ピアノ＝あらかじめ5曲（主科目にする場合の課題曲4曲、副科目にする場合の課題曲1曲）を指定します。受験者はその中から1曲を選び、くりかえしなしで暗譜演奏します。 声 楽＝あらかじめ5曲（主科目にする場合の課題曲3曲、副科目にする場合の課題曲2曲）を指定します。実技検査当日、大学側がその中から1曲を選び、暗譜で歌わせます。 任意の楽器＝受験者が用意した任意の楽器で任意の曲の演奏を行います。 楽器は鍵盤楽器以外で、各自が用意してください。演奏は無伴奏とします。 作 曲＝和声課題（四声体バス課題、12小節程度、「3和音基本位置」程度まで）を解きます。 音楽に関する記述問題＝音楽あるいは音楽教育に関する課題について、1,000字程度で答えます。 （注） 指定の曲目は11月中旬発表予定の学生募集要項に記載しますが、それに先立ち8月初旬頃、本学ウェブサイトの「入試情報」（https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/）に掲載します。
	美術	美術実技は、素描（鉛筆デッサン）を課し、基礎表現力を評価します。 素描＝形態の把握力、観察力、表現力、描写力を重視して考査します。（180分）
健康科学コース	スポーツ	体育実技は、運動技能検査とし、下記のとおり実施します。 1. 基礎運動技能検査 多くのスポーツ種目に対応しうるようなスポーツの基礎的スキルや動きなどをみます。 2. 実技実績調査書 高等学校入学以降のスポーツ競技実績を、実技実績調査書により評価します。

② 後期日程

教育実践コース、心理学・幼児教育コース、特別支援・生活科学コース、芸術・表現コース志望をA系志望、人文科学コース、数理自然科学コース、スポーツ健康科学コース志望をB系志望とします。それぞれの募集人員をA系志望6人、B系志望6人とし、2系とも小論文の試験を行います。小論文は、資料を与え、1,200字程度で論述させ、理解力・思考力・表現力等を総合的にみます。

(2) 合格者決定方法について

合格者の決定は、大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合点により行います（配点については、13～15ページ参照）。出身学校の調査書は選抜の基礎資料として利用します。個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。

① 前期日程

・心理学・幼児教育コースでは、それぞれの個別学力検査等ごとに、小論文の上位12人、表現基

礎検査の上位8人を合格者とします。

- 芸術・表現コースでは、それぞれの個別学力検査等ごとに、音楽の上位6人、美術の上位6人を合格者とします。
- 人文科学コースでは、それぞれの個別学力検査等ごとに、国語の上位20人、英語の上位20人、小論文の上位20人を合格者とします。

② 後期日程

第一志望の合格者が定員を満たしていても、第二志望の定員が満たされていない場合は、第二志望の系で合格となります。

行政政策学類

(1) 個別学力検査等について

小論文については、試験時に資料を与え、それに関して1,200字以内で論述させ、理解力・思考力・表現力を総合的に採点します。

- ① 前期日程 出題する長文について、長文の読解力・要約力を重点的に問います。
- ② 後期日程 出題する長文について、受験者の見解を論述させ、文章構成力を重点的に問います。

(2) 合格者決定方法について

- ① 出身学校の調査書は、選抜の基礎資料として利用します。
- ② 合格者の決定は、大学入学共通テストと個別学力検査等の成績を総合して高得点順に行います(配点については、16ページ参照)。

個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。

経済経営学類

(1) 個別学力検査等について

- ① 前期日程および後期日程の「英語」については、「音声内容」は含みません。
- ② 前期日程および後期日程の「小論文」は、一定の素材を与え、それに関して1,200字以内で論述させ、読解力、知識活用力・表現力等を総合的にみます。

(2) 合格者決定方法について

- ① 出身学校の調査書は、選抜の基礎資料として利用します。
- ② 合格者の決定は、大学入学共通テストと個別学力検査等の成績を総合して高得点順に行います(配点については、17ページ参照)。

個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。

共生システム理工学類

(1) 個別学力検査等について

- ① 前期日程の「理科」の「物理」,「化学」,「生物」は全領域とします。
- ② 前期日程および後期日程の「数学」の「数B」は,「数列」,「ベクトル」とします。

(2) 合格者決定方法について

- ① 出身学校の調査書は, 選抜の基礎資料として利用します。
- ② 合格者の決定は, 大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合点により行います (配点については, 18ページ参照)。

個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。

食 農 学 類

(1) 個別学力検査等について

- ① 前期日程の「理科」の「物理」,「化学」,「生物」は全領域とします。
- ② 前期日程の「理科」について, 物基・物, 化基・化, 生基・生から2科目の選択も可能です。
- ③ 前期日程および後期日程の「数学」の「数B」は,「数列」,「ベクトル」とします。
- ④ 前期日程および後期日程の「英語」については,「音声内容」は含みません。

(2) 合格者決定方法について

- ① 出身学校の調査書は, 選抜の基礎資料として利用します。
- ② 合格者の決定は, 大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合点により行います (配点については, 19ページ参照)。

個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。

4 一般選抜 (前期日程および後期日程) における過去問題の使用について

- (1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため,「入試過去問題活用宣言」に参加している大学で過去に出された問題を, 必要と認める範囲で使用して出題することがあります。ただし, 小論文は除きます。
- (2) 過去問題を使用する際は, そのまま使用することも, 一部改変することもあります。また, 必ず使用するとは限りません。
- (3) 過去問題を使用した場合は, 入学試験終了後, 本学ウェブサイトで公表します。
- (4) 「入試過去問題活用宣言」の詳細および参加大学の一覧は, 次のウェブサイトで公表しています。

<https://www.nyushikakomon.jp/>

V 総 合 型 選 抜

実施学群・学類名等	人文社会学群 人間発達文化学類 芸術・表現コース，スポーツ健康科学コース
募 集 人 員	20人〔芸術・表現コース8人（音楽4人，美術4人），スポーツ健康科学コース12人〕
出 願 資 格	【芸術・表現コース】 音楽または美術において優れた技能を有する者とします。 音楽の分野は，声楽，ピアノ，管弦打楽器（試験に持参できるものに限る），作曲，指揮とします。 美術は，特に分野を限定しません。 【スポーツ健康科学コース】 次の種目において優れた技能を有し，全国大会（国民体育大会，全国高校総合大会，全国高校選手権大会等の競技会）またはブロック大会に出場し，プレーした者とします。 陸上競技，バレーボール，バスケットボール，サッカー，テニス（ソフトテニスは含まない），野球（男子），ソフトボール（女子），バドミントン，剣道，柔道，ハンドボール，トライアスロン 新型コロナウイルス感染拡大防止のためブロック大会以上の大会が中止された場合，その予選となる大会でブロック大会以上の出場に相当する成績であれば出願することができます。また，その予選となる大会も中止となった場合，代替大会等の成績がブロック大会以上の出場に相当する成績であれば出願することができます。 【両コース共通】 次の(1)から(3)のいずれかに該当するとともに，本学類のアドミッション・ポリシーに適合し，本学類で学ぶ強い意欲を持ち，合格した場合，入学することを確約できる者とします。 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和6年3月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和6年3月に修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和6年3月までにこれに該当する見込みの者
選 抜 方 法	【芸術・表現コース】 小論文（100点満点），面接（自己推薦書，実技実績調査書，出願時に提出し

選 抜 方 法	た作品の評価を含む。100点満点), 実技検査 (100点満点) の成績の総合点により判定します。 ただし, 小論文, 面接, 実技検査のうちいずれかの得点が一定の点数 (30点) に達しない者は, 合格者とはなりません。 【スポーツ健康科学コース】 入学者の選抜は第1次選抜, 第2次選抜により行います。 ＜第1次選抜＞ 自己推薦書, 実技実績調査書を総合して選抜します。 なお, 入学志願者が24人を超えない場合には, 第1次選抜を実施せず, 第2次選抜のみとします。 ＜第2次選抜＞ 第1次選抜合格者に対して, 小論文 (100点満点), 面接 (自己推薦書, 高等学校等で学習した基礎的な内容についての口頭試問を含む。100点満点), 実技実績調査書 (100点満点) の成績の総合点により選抜します。 ただし, 小論文または面接の得点が一定の点数 (30点) に達しない者は, 合格者とはなりません。 なお, 1種目の合格者数は募集人員の半数を超えないものとします。
出 願 期 間	〔芸術・表現コース〕 令和5年10月30日(月)～11月2日(木) 〔スポーツ健康科学コース〕 令和5年10月10日(火)～10月13日(金)
選 抜 期 日	〔芸術・表現コース〕 令和5年11月15日(水) 〔スポーツ健康科学コース〕 第1次選抜: 書類審査 第2次選抜: 令和5年11月15日(水)
合 格 発 表 日	〔芸術・表現コース〕 令和5年11月24日(金) 〔スポーツ健康科学コース〕 第1次選抜: 令和5年10月26日(木) 第2次選抜: 令和5年11月24日(金)
そ の 他	詳細は, 7月中旬発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

実施学群・学類名	人文社会学群 行政政策学類 夜間主
募 集 人 員	地域政策と法コース 地域社会と文化コース } 20人 (注) 所属コースは1年次後期に本人の希望を考慮して決定します。
出 願 資 格	大学入学資格を有する者のうち、次の(1)と(2)のいずれかに該当した上で、本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意志を持ち、合格した場合、入学することを確約できる者としします。 (1) 令和6年3月31日現在、年齢が満22歳に達している者（平成14年4月1日に生まれた者を含む。） (2) 令和6年3月31日現在、年齢が満22歳に達していない者で、出願時に、就職している者（主婦（主夫）業を含む）、就職が内定している者、または入学後に就業しながら修学する意思を確約できる者 ※ 就職・就業にはアルバイト、パート等を含み、労働時間が週平均20時間以上のものに限りま
選 抜 方 法	志願理由書に基づいた口頭試問
出 願 期 間	令和5年10月17日(火)～10月20日(金)
選 抜 期 日	令和5年11月25日(土)
合 格 発 表 日	令和5年12月7日(木)
そ の 他	詳細は、7月中旬発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

実施学群・学類名	人文社会学群 経済経営学類
募 集 人 員	経済学コース } 11人 (注) 所属コースは2年次前期に本人の希望と 経営学コース } 入学後の成績に基づいて決定します。
出 願 資 格	次の(1)から(3)のいずれかに該当するとともに、本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合、入学することを確認できる者としします。 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和6年3月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和6年3月に修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和6年3月までにこれに該当する見込みの者 なお、総合型選抜に出願した者が本学類の学校推薦型選抜に出願した場合は、総合型選抜の出願を辞退したものとみなします。
選 抜 方 法	<第1次選抜> 書類審査。課題図書に基づくレポート（2冊程度を事前に提示。）と志願理由書によって、20人程度を選抜します。調査書は書類審査のための基礎資料として使用します。 <第2次選抜> 集団討論、面接試験によって募集人員程度を選抜します。 <第3次選抜> 第2次選抜合格者の中で、大学入学共通テストの指定する科目のうち、3つの教科グループ《国語・外国語》《地歴、公民》《数学（簿記・情報を含む）》のうち2つにおいて、60点（100点満点換算）以上の科目がある者を最終合格者としします。 教科ごとの科目指定は下記のとおりです。 ・国 語：国 ・外国語：英、独、仏、中、韓 ・地 歴：世A、世B、日A、日B、地理A、地理B - 公 民：現社、倫、政経、倫政経 ・数 学：数I、数I・数A、数II、数II・数B、簿、情報 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。 今年度の大学入学共通テストの成績のみ利用します。
出 願 期 間	令和5年9月12日(火)～9月15日(金)
選 抜 期 日	第1次選抜：書類審査 第2次選抜：令和5年12月2日(土) 第3次選抜：大学入学共通テストによる
合 格 発 表 日	第1次選抜：令和5年10月12日(木) 第2次選抜：令和5年12月7日(木) 第3次選抜：令和6年2月8日(木)
そ の 他	詳細は、7月中旬発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

実施学群・学類名	理工学群 共生システム理工学類
募集人員	数理・情報科学コース 経営システムコース 物理・システム工学コース 物質科学コース エネルギーコース 生物環境コース 地球環境コース 社会計画コース 心理・生理コース 25人 (注) 所属コースは1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。
出願資格	次の(1)から(3)のいずれかに該当するとともに、本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合、入学することを確約できる者とします。 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和6年3月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和6年3月に修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和6年3月までにこれに該当する見込みの者
選抜方法	第1次選抜、第2次選抜により行います。 1. 第1次選抜 出願時に提出されたポスターおよび出願書類を総合的に評価し、60人程度を第1次選抜合格者とします。なお、入学志願者が60人を超えない場合には、第1次選抜を実施せず、第2次選抜のみとします。 【ポスター】 以下の課題の1つを選択し、以下の様式により作成してください。 課題A：現在、我々が直面する人－産業－環境を取り巻く様々な問題を解決するために、我々はどのような取り組みをすれば良いでしょうか？ あなたの関心のある問題を1つ課題設定し、問題解決に向けた独自のアイデアを含む提案を、ポスター1枚にわかりやすくまとめてください。 課題B：あなたが関心を持って行った理工学的テーマについての調査・研究・開発（製作）を、ポスター1枚にわかりやすくまとめてください。科学的な新しさ、または社会的貢献の可能性を含む課題設定を求めます。 ○サイズ：模造紙サイズ（788mm×1,091mm） ○用紙の材質・色およびポスターの縦横ならびに文字等の数・大きさ、写真等の貼付け等は自由とします。 【参考】ポスター作製上のアドバイス ○この入試でいう「ポスター」には、「出願者が着目した現代社会における問

選 抜 方 法	題に対する独自のアイデアを含む提案【課題A】、あるいは「出願者の調査・研究・開発（製作）【課題B】」について、提案または結論のみならず、そこに至るまでの道筋が明確に読み取れることが求められます。そのため、文章や図、グラフ、写真、表などを用いて、詳しくかつわかりやすく表現されたポスターが期待されます。このようにここでいう「ポスター」は、美術の授業等で作製するような、いわゆる広報用ポスター（例えば交通安全や虫歯予防などを呼びかける標語ポスター）ではないことに十分注意してください。 ○第2次選抜の口頭説明の際には、面接員はポスターを3m程度離れた位置から見ることになります。このため、文字の大きさは少なくとも高さ20mm程度必要となります。 ○説明のために必要な図表等を書籍やホームページなどから引用した場合は、必ず、出典を明示してください。 【ポスター評価基準】 課題設定の適切さ、知識、独創性、分析力、論理展開の正しさ、表現力等を評価します。印刷したものであるか、手書きであるか自体は評価に影響しません。 2. 第2次選抜 第1次選抜合格者には、総合問題、ポスター口頭説明および質疑応答を課し、総合的に評価し選考します。 ○総合問題：高等学校（中等教育学校後期課程含む）までの学習全般を範囲とした問題を出します。 ○ポスター口頭説明および質疑応答 選択した課題について、出願時のポスターを用い、5分程度で説明してください。 その後、面接員との質疑応答を実施します。課題設定の適切さ、課題に対する理解、知識、独創力、分析力、論理展開の正しさ、表現力ならびにコミュニケーション能力等を評価します。ポスター口頭説明および質疑応答では、発表原稿等、手持ち資料の持ち込みは認めません。提出したポスターのみを用いてください。
出 願 期 間	令和5年9月1日(金)～9月6日(水)
選 抜 期 日	第1次選抜：書類選考 第2次選抜：令和5年9月30日(土)
合 格 発 表 日	第1次選抜：令和5年9月20日(水) 第2次選抜：令和5年11月1日(水)
そ の 他	詳細は、7月中旬発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

実施学群・学類名	農学群 食農学類
募 集 人 員	食品科学コース 農業生産学コース 生産環境学コース 農業経営学コース } 20人 (地域社会貢献枠概ね10人, 実践教育経験枠概ね10人) (注) 所属コースは, 2年次前期終了時 に決定します。
出 願 資 格	地域社会貢献枠 次の(1)から(4)のすべてに該当する者とします。 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和6年3月に卒業見込みの者、または高等専門学校の第3学年を修了見込みの者 (2) 福島県内の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内の農業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等の次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者。福島県外の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内もしくは出身県内の農業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等で次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者 (3) 本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意志を持ち、合格した場合は入学することを確約できる者 (4) 以下のいずれかを取得している者 ① 実用英語技能検定準2級以上 以下の検定結果でも可 CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) A2とし IELTS 3.0 以上, TEAP 150 以上, GTEC 690 以上, GTEC CBT 510 以上, TOEIC L & R S & W 385以上 (L & R 225以上, S & W 160以上) など ② 実用数学技能検定2級以上 ③ 上記同等、同等以上の資格 (例 情報処理検定ビジネス1級など)^(注) 実践教育経験枠 次の(1)から(3)のすべてに該当する者とします。 (1) 高等学校専門学科 (農業, 工業, 商業, 情報, 水産, 家庭, 看護, 福祉に関する学科), 総合学科もしくは中等教育学校専門学科 (農業, 工業, 商業, 情報, 水産, 家庭, 看護, 福祉に関する学科) を令和6年3月に卒業見込みの者、または高等専門学校の第3学年を修了見込みの者で、農学を学ぶ強い意欲を持つ者

出 願 資 格	(2) 本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意志を持ち、合格した場合は入学することを確約できる者 (3) 以下のいずれかを取得している者 ① 実用英語技能検定準2級以上 以下の検定結果でも可 CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）A2とし IELTS 3.0 以上, TEAP 150 以上, GTEC 690 以上, GTEC CBT 510 以上, TOEIC L & R S & W 385以上（L & R 225以上, S & W 160以上）など ② 実用数学技能検定2級以上 ③ 日本農業技術検定3級以上 ④ 日本商工会議所簿記検定2級以上 ⑤ 上記同等、同等以上の資格（例 情報処理検定ビジネス1級など）^(注) (注) 「上記同等、同等以上の資格」については、本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」(https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html)に掲載している別紙を参照してください。
選 抜 方 法	【第1次選抜】 書類選考とします。 以下の書類により、熱意と適性の評価を行います。 ・自己推薦書（本学様式） ・調査書 食農学類への適性を判断するため使用 【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し、課題論文を課し、面接を実施します。
出 願 期 間	令和5年9月25日(月)～9月28日(木)
選 抜 期 日	第1次選抜：書類選考 第2次選抜：令和5年11月4日(土)
合 格 発 表 日	第1次選抜：令和5年10月12日(木) 第2次選抜：令和5年11月9日(木)
そ の 他	詳細は、7月中旬発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

Ⅵ 学校推薦型選抜

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

実施学群・学類名	人文社会学群 行政政策学類
募 集 人 員	地域政策と法コース 地域社会と文化コース } 42人 （注） 所属コースは1年次後期に本人の希望を考慮して決定します。
出 願 資 格	次の各号のいずれかに該当する者としてします。 (1) 高等学校（特別支援学校（盲学校、聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和6年3月に卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定により令和5年度中に高等学校を卒業または卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和6年3月までに修了または修了見込みの者
推 薦 要 件	次のすべての要件に該当する者のうち、学校長が責任を持って推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者としてします。 (1) 調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.3以上の者 (2) 法・地域・行政・社会・文化について関心がある者
選 抜 方 法	小論文（100点満点）と面接（50点満点）の成績の総合点により判定します。出願書類は面接の資料として利用します。
出 願 期 間	令和5年11月1日(水)～11月7日(火)
選 抜 期 日	令和5年11月18日(土)
合 格 発 表 日	令和5年12月7日(木)
そ の 他	(1) 出身学校長が推薦できる人数に制限はありません。 (2) 詳細は、7月中旬発表の「学校推薦型選抜学生募集要項」によります。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

実施学群・学類名等	人文社会学群 経済経営学類 A 推薦（指定検定資格要件：外国語）
募 集 人 員	経済学コース } 25人 (注) 所属コースは2年次前期に本人の希望と 経営学コース } 入学後の成績に基づいて決定します。
出 願 資 格	次の各号のいずれかに該当する者としてします。 (1) 高等学校（特別支援学校（盲学校，聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和5年3月以降に卒業または令和6年3月に卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定により令和4年4月以降年度の途中に高等学校を卒業または卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和4年4月から令和6年3月までに修了または修了見込みの者
推 薦 要 件	次のすべての要件に該当する者のうち，学校長が責任を持って推薦し，合格した場合には入学することを確約できる者としてします。 (1) 調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.3以上の者 (2) 以下の語学検定試験のいずれかにおいて，一定の基準に達している者 ① （公財）日本英語検定協会主催 実用英語技能検定（英検）CSE スコア1850点以上 ※「英検 S-CBT」（「英検2020 1day S-CBT」「英検 CBT」を含む）の受験によって得られた成績を，従来方式と同等に扱います。 ② （一財）国際ビジネスコミュニケーション協会主催 TOEIC L&R 480点以上 ③ ETS Japan 合同会社主催 TOEFL iBT 50点以上 ※「TOEFL iBT Home Edition」（「TOEFL iBT Special Home Edition」を含む）の受験によって得られた成績を，従来方式と同等に扱います。 ④ （公財）ドイツ語学文学振興会主催 ドイツ語技能検定試験（独検） 4 級以上 ⑤ （公財）フランス語教育振興協会主催 実用フランス語技能検定（仏検） 5 級以上 ⑥ （公財）日本中国語検定協会主催 中国語検定試験（中検） 準 4 級以上 ⑦ ロシア語能力検定委員会主催 ロシア語能力検定試験 4 級以上 ⑧ （公財）韓国教育財団主催 韓国語能力試験（TOPIK） 1 級以上 (3) 学力・人物が優れている者
選 抜 方 法	小論文（100点満点），面接（100点満点）の成績の総合点により判定します。出願書類は判定の基礎資料として利用します。
出 願 期 間	令和5年11月1日(水)～11月7日(火)
選 抜 期 日	令和5年11月25日(土)
合 格 発 表 日	令和5年12月7日(木)
そ の 他	(1) 出身学校長が推薦できる人数は，A 推薦およびB 推薦をあわせて1 校につき3 人以内とします。 (2) 詳細は，7 月中旬発表の「学校推薦型選抜学生募集要項」によります。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

実施学群・学類名等	人文社会学群 経済経営学類 B推薦（指定検定資格要件：簿記）
募 集 人 員	経済学コース 経営学コース 25人 （注） 所属コースは2年次前期に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。
出 願 資 格	次の各号のいずれかに該当する者としてします。 (1) 高等学校（特別支援学校（盲学校、聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和5年3月以降に卒業または令和6年3月に卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定により令和4年4月以降年度の途中に高等学校を卒業または卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和4年4月から令和6年3月までに修了または修了見込みの者
推 薦 要 件	次のすべての要件に該当する者のうち、学校長が責任を持って推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者としてします。 (1) 調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.3以上の者 (2) 以下の検定試験のいずれかに合格している者 ① 日本商工会議所主催 簿記検定試験1級または2級（なお、1級に合格している者は推薦書裏面の資格記入欄に朱記すること。） ② （公財）全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定試験1級 (3) 学力・人物が優れている者
選 抜 方 法	小論文（100点満点）、面接（100点満点）、朱記要件加算（50点）の成績の総合点により判定します。出願書類は判定の基礎資料として利用します。
出 願 期 間	令和5年11月1日(水)～11月7日(火)
選 抜 期 日	令和5年11月25日(土)
合 格 発 表 日	令和5年12月7日(木)
そ の 他	(1) 出身学校長が推薦できる人数は、A推薦およびB推薦をあわせて1校につき3人以内とします。 (2) 詳細は、7月中旬発表の「学校推薦型選抜学生募集要項」によります。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

実施学群・学類名	理工学群 共生システム理工学類
募集人員	数理・情報科学コース 経営システムコース 物理・システム工学コース 物質科学コース エネルギーコース 生物環境コース 地球環境コース 社会計画コース 心理・生理コース 23人 （注）所属コースは1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。
出願資格	次の各号のいずれかに該当する者とします。 (1) 高等学校（特別支援学校（盲学校、聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和6年3月に卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定により令和5年度中に高等学校を卒業または卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和6年3月までに修了または修了見込みの者
推薦要件	次のすべての要件に該当する者のうち、学校長が責任を持って推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者とします。 (1) 調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上の者 (2) 本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意欲を持っている者
選抜方法	小論文（40点満点）、面接（60点満点）の成績の総合点により判定します。出願書類は面接の資料として利用します。
出願期間	令和5年11月1日(水)～11月7日(火)
選抜期日	令和5年11月25日(土)
合格発表日	令和5年12月7日(木)
その他	(1) 出身学校長が推薦できる人数に制限はありません。 (2) 詳細は、7月中旬発表の「学校推薦型選抜学生募集要項」によります。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

実施学群・学類名等	人文社会学群 人間発達文化学類 教育実践コース、心理学・幼児教育コース、特別支援・生活科学コース、 芸術・表現コース、人文科学コース、数理自然科学コース、 スポーツ健康科学コース
募 集 人 員	74人 次の7コース・10受験区分で募集を行います。 1) 教育実践コース ① 小学校教員になることを強く希望する者（14人） 2) 心理学・幼児教育コース ② 幼稚園教員になることを強く希望し、あわせて保育士資格を取得する意志のある者（7人） 3) 特別支援・生活科学コース ③ 特別支援学校教員になることを強く希望する者（8人） ④ 家庭科または特別支援教育に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者（5人） 4) 芸術・表現コース ⑤ 音楽科に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者（4人） ⑥ 美術科に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者（4人） 5) 人文科学コース ⑦ 国語科、社会科、英語科のいずれかに関心があり、小学校教員になることを強く希望する者（15人） 6) 数理自然科学コース ⑧ 理科に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者（7人） ⑨ 数学科に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者（4人） 7) スポーツ健康科学コース ⑩ 体育科に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者（6人） ※入学後は、出願時に強く希望した受験区分の教員免許を取得することになります。
出 願 資 格	次の各号のいずれかに該当する者としします。 (1) 高等学校（特別支援学校（盲学校、聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和6年3月に卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定により令和5年度中に高等学校を卒業または卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和6年3月までに修了または修了見込みの者
推 薦 要 件	次のすべての要件に該当する者のうち、学校長が責任を持って推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者としします。 (1) 学業、人物ともに優れ、各コースが求める教員になることとあわせて資格取得を強く希望する者 (2) 令和6年度大学入学共通テストにおける試験教科・科目のうち、本学が課した教科・科目をすべて受験する者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績（900点）および面接の成績（600点）の総合点により判定します。 出願書類は面接の資料として利用します。 ○ <u>大学入学共通テストで受験を要する教科・科目</u> 「国語」（200点）、「地理歴史」・「公民」・「理科」（300点）、「数学」（200点）、「外国語」（200点）の合計900点 国：国 地歴、公民：世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫政経から1または2

選 抜 方 法 等	理：〈選択①：「地歴」、「公民」から1科目選択する場合〉 物基，化基，生基，地学基から2および物，化，生，地学から1 または 物，化，生，地学から2 〈選択②：「地歴」、「公民」から2科目選択する場合〉 物基，化基，生基，地学基から2 または 物，化，生，地学から1 数：数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報から1 外：英，独，仏，中，韓から1 〈選択①〉〔5教科7科目〕または〔5教科8科目〕 〈選択②〉〔5教科7科目〕，〔5教科8科目〕， 〔6教科7科目〕または〔6教科8科目〕 【注意事項】 ① a. 「地理歴史」，「公民」から2科目，「理科」の「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合，それぞれの「第1解答科目」の2科目と「第2解答科目」のどちらか高得点の1科目，合計3科目を判定に用います。 b. 「地理歴史」，「公民」から2科目，「理科」の「基礎を付した科目」から2科目，および「基礎を付していない科目」から1科目を受験した場合，「地理歴史」，「公民」の「第1解答科目」と，その他の3科目から高得点の2科目，合計3科目を判定に用います。 ② 「地理歴史」を2科目選択する場合は，同一名称のA・B科目，「公民」を2科目選択する場合は，同一名称を含む科目同士の選択はできません。 ③ 「理科」を2科目選択する場合は，「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。 ④ 「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択解答することができる者は，高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。 ⑤ 「外国語」の「英語」については，リーディングおよびリスニングを課します。（リスニングを免除された場合は，リーディングのみとなります。）また，リーディングの得点を200点満点に，リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を，配点（200点満点）に圧縮して利用します。 リスニングを免除された場合は，リーディングの得点を，配点（200点満点）に換算して利用します。 「英語」以外の「外国語」の場合は，筆記の得点をそのまま利用します。 ⑥ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和6年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。 ○ <u>個別学力検査等</u> 面接（600点） ※受験区分⑤の面接には音楽に関する簡単な実技検査を含みます。
出 願 期 間	令和5年12月12日(火)～12月15日(金)
選 抜 期 日	令和6年1月17日(水)か18日(木)のいずれか
合 格 発 表 日	令和6年2月8日(木)
そ の 他	(1) 出身学校長が推薦できる人数は，すべてのコースを合わせて，1校につき7人までとします。 (2) 詳細は，7月中旬発表の「学校推薦型選抜学生募集要項」によります。

Ⅶ 私費外国人留学生選抜

1 出願資格

次の(1) (2) (3) (4) の条件をすべて満たす者とします。

(1) 日本国籍を有しない者

※ 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校等を卒業した者または令和6（2024）年3月に卒業見込みの者、および日本の永住許可を得ている者（特別永住者を含む）は、この選抜には出願できません。

(2) 出入国管理及び難民認定法において大学入学資格に支障のない在留資格を有する者および取得できる見込みの者

（注）在留資格によっては出願できない場合があるので、事前に本学入試課に照会してください。

(3) 次のいずれかに該当する者

① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（令和6（2024）年3月までに修了見込みの者を含む。）またはこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者

② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者

③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者

④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

⑤ 国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者または令和6（2024）年3月31日までに修了見込みの者

⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和6（2024）年3月31日までに18歳に達する者※

※ 出願資格の(3)⑥により出願を希望する者については、個別審査を行いますので、本学所定の申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、令和5（2023）年11月9日(木)〔午後5時必着〕までに提出してください。

個別審査の申請に必要な書類については、本学入試課へ問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)を参照してください。

(4) 独立行政法人日本学生支援機構の実施する日本留学試験を各学類が指定した方法で受験した者

2 入学者選抜方法（詳しくは10月下旬発表予定の「私費外国人留学生選抜学生募集要項」に記載します。）

人間発達文化学類

(1) 入学者の選抜は、出願資格の項に示す日本留学試験の成績と、本学が実施する小論文または実技検査および面接の成績の総合点により判定します。日本留学試験200点、本学が実施する小論文または実技検査200点、面接200点、合計600点とします。日本留学試験は、日本語450点（記述

試験を含む。)を100点に圧縮, 総合科目・理科・数学200点をそれぞれ50点に圧縮して利用します。

- (2) 出願者は, 出願時においてすでに終了した直近の試験を含む2回(令和5(2023)年の6月, 11月)の日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。出題言語は, 日本語または英語のいずれを選択してもかまいません。
- (3) 日本留学試験で受験が必要な教科と, 本学が実施する試験は, 次のとおりです。

志望するコース	日本留学試験で受験が必要な教科	本学が実施する試験 (必須)
教育実践コース	日本語と数学は必須 理科と総合科目はいずれかを選択	小論文・面接
心理学・幼児教育コース		小論文・面接
特別支援・生活科学コース		小論文・面接
芸術・表現コース		実技検査・面接
人文科学コース		小論文・面接
数理自然科学コース		小論文・面接
スポーツ健康科学コース		実技検査・面接

(注) 理科(物理・化学・生物)における理科2科目, および数学のコース1・2の選択は自由とします。

行政政策学類

- (1) 入学者の選抜は, 出願資格の項に示す日本留学試験の成績と, 本学が実施する面接の結果から算出された総得点で判断します。
- (2) 出願者は, 出願時においてすでに終了した直近の試験を含む3回(令和4(2022)年の11月および令和5(2023)年の6月, 11月)の日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。なお受験科目は, 日本語を必須とし, その他3教科から選択された1教科の計2教科を用います。教科および教科内のコース・科目の選択は指定しません。出題言語は, 日本語または英語のいずれを選択してもかまいません。
- (3) 試験科目および配点等は次のとおりです。

志望するコース	日本留学試験で受験が必要な教科				本学が実施する試験 面接(必須)	総合点
	日本語 (必須)	総合 科目	理 科	数 学		
地域政策と法コース 地域社会と文化コース	400	(200)	(200)	(200)	200	800

(注) 1. 配点に()を付してある教科は, 選択教科を表します。

2. 日本語試験のうち, 記述試験は日本語の配点から除外します。

3. 理科(物理・化学・生物)における理科2科目, および数学のコース1・2の選択は自由とします。

経済経営学類

- (1) 入学者の選抜は、出願資格の項に示す日本留学試験の成績と、本学が実施する小論文および面接の結果等を総合して行います。
- (2) 出願者は、出願時においてすでに終了した直近の試験を含む3回（令和4（2022）年の11月および令和5（2023）年の6月、11月）の日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。受験教科・科目は、文系3教科【日本語、総合科目、数学〈コース1またはコース2を選択〉】または理系3教科【日本語、理科〈物理、化学、生物から2科目選択〉、数学〈コース1またはコース2を選択〉】のいずれかを選択してください。出題言語は、日本語または英語のいずれを選択してもかまいません。
- (3) 試験科目および配点等
日本語450点を400点に圧縮し、これに(2)で述べた日本留学試験の日本語以外の科目400点を加えて800点とし、さらにこれを400点に圧縮します。この日本留学試験400点、本学が実施する小論文200点、面接200点、合計800点で判定します。
- (4) 小論文については、一定の素材を与え、それに関連して1,200字以内（日本語）で論述させ、理解力・思考力・表現力等を総合的にみます。
- (5) 面接については、質問に基づき、問題意識、勉学意欲、日本語能力等を総合的にみます。

共生システム理工学類

- (1) 入学者の選抜は、出願資格の項に示す日本留学試験の成績と、本学が実施する面接の成績の総合点により判定します。
- (2) 出願するためには、令和5（2023）年6月または令和5（2023）年11月に実施される日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。受験教科・科目は日本語、理科〈物理、化学、生物から2科目選択〉、数学〈コース2〉です。出題言語は、日本語または英語のいずれを選択してもかまいません。
- (3) 試験科目および配点等
日本留学試験100点（850点を100点に圧縮）、本学が実施する面接100点、合計200点とします。
- (4) 面接では、勉学意欲、日本語能力、理科と数学の基礎学力等を総合的に評価します。

食農学類

- (1) 入学者の選抜は、出願資格の項に示す日本留学試験の成績と、本学が実施する面接および口頭試問の成績の総合点により判定します。
- (2) 出願するためには、令和5（2023）年6月または令和5（2023）年11月に実施される日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。受験教科・科目は日本語、理科〈物理、化学、生物から2科目選択〉、数学〈コース2〉です。出題言語は、日本語に限ります。

(3) 試験科目および配点等

日本留学試験100点（850点を100点に圧縮）、本学が実施する面接および口頭試問100点、合計200点とします。

(4) 面接および口頭試問では、勉強意欲、日本語能力、理科と数学の基礎学力等を総合的に評価します。

3 出願期間

全学類 令和5（2023）年12月4日(月)～12月7日(木)

4 選抜期日等

学 類	募集人員	選抜期日
人間発達文化学類	若干名	令和6（2024）年2月26日(月)
行政政策学類	若干名	令和6（2024）年2月14日(水)
経済経営学類	5 人	令和6（2024）年2月3日(土)
共生システム理工学類	若干名	令和6（2024）年1月17日(水)
食 農 学 類	若干名	令和6（2024）年1月17日(水)

5 合格発表日

人間発達文化学類……………令和6（2024）年3月6日(水)

行政政策学類……………令和6（2024）年2月20日(火)

経済経営学類……………令和6（2024）年2月8日(木)

共生システム理工学類……………令和6（2024）年1月25日(木)

食 農 学 類……………令和6（2024）年1月25日(木)

6 そ の 他

詳細については、10月下旬発表予定の「私費外国人留学生選抜学生募集要項」によります。

また、「日本留学試験」については、下記へ照会してください。

独立行政法人 日本学生支援機構 〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 ☎03-6407-7457
--

Ⅷ そ の 他

1 障がい等のある入学志願者の事前相談

病気・負傷や障がい等のある入学志願者で、受験上および修学上の配慮を必要とする場合は、出願前にあらかじめ入試課まで申し出てください。

なお、申し出に基づき事前相談が必要となった場合の相談の時期および方法等については、それぞれの学生募集要項に記載します。

○人間発達文化学類、共生システム理工学類および食農学類への志願の際の注意事項

言語、視覚、聴覚および運動機能に障がいのある者は、障がいの程度によっては教育課程の履修が困難な場合がありますので、これらの障がいを持つ者で不安がある者は、できるだけ早い時期に本学入試課まであらかじめ問い合わせた上で出願してください。

2 不正行為の禁止について

(1) 不正行為に該当する行為および罰則について

試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類を使用する等の行為は、不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、不正行為については、警察に被害届を提出する場合があります。

(2) 試験時間中に使用できないもの

試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

- ① 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、イヤホン（補聴器等の管理医療機器除く）、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類

※ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。

※ 試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。

- ② 下敷、コンパス、定規等の補助具

※ これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとな不正行為となることがあります。

3 入試情報の公開（開示）について

福島大学では、以下のとおり入学試験にかかる情報を公開（開示）します。

詳しくは本学入試課までお問い合わせください。

情 報 項 目	公開（開示）の実施方法
1 試験問題等の公開	試験問題等の公開について「各学生募集要項」をご覧ください。
(1) 試験問題等	- 問題を配布した試験については、合格者発表後、学内閲覧できます。また、準備ができ次第、残部の配布および本学ウェブサイトに掲載します。 - 面接については、資料を用いた場合、その資料を合格者発表後、学内閲覧できます。
(2) 採点・評価基準 および合否判定基準	本要項または「各学生募集要項」に記載します。
(3) 合格者の最低点	- 合格者発表時、合格者受験番号の掲示板および本学ウェブサイト合格者の最低点（総合点によるもの）を公開します。 - 一般選抜においては、A選考およびB選考の合格最低点（主体性等評価の得点を除く総合点）を公開します。 - 以下の入学試験については公開しません。 ① 合格者が10人未満の場合および点数化しない入学試験 ② 総合型選抜
(4) 入学試験問題の「解答例」等	学力検査（一般選抜）については「解答例」を、合格者発表後、学内閲覧できます。また、小論文については「出題意図」を、人間発達文化学類の実技検査および面接については「概要とねらい」を、本学ウェブサイトに掲載します。
2 入学試験個人成績等の開示	本学が定める方法により、入学試験個人成績、出願書類として提出された調査書を受験者本人に開示します。
(1) 開示期間	令和6年5月7日(火)～5月31日(金)
(2) 開示方法	令和6年4月上旬、本学ウェブサイトの開示の方法について掲載します。 https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/kaizi.html
(3) 開示内容	① 入学試験個人成績については、入学試験ごとに該当する以下の成績。 ア. 大学入学共通テストの教科・科目ごとの得点（本学が判定に使用した教科・科目のみ。傾斜配点を行う教科・科目は傾斜配点後の得点。） イ. 個別学力検査等の得点または評価判定の内容 ウ. アとイの総合点 ② 調査書については、「指導上参考となる諸事項」、「総合的な探究の時間の内容・評価」および「備考」欄の記載事項以外の部分の複写物（高校在学時に交付される通知表と同等のもの）。 ※—主体性等評価の得点は開示しません—

4 学生募集要項等の発表時期・請求方法

1. 学生募集要項等の発表時期

本要項は、福島大学における入学者選抜の基本的事項についてのみ記載したものです。具体的な学力検査等の日時、出願手続、出願書類等を記載した募集要項は、次のとおり発表する予定です。

なお、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜、私費外国人留学生選抜は、インターネット出願となります。冊子での募集要項の配布は行いません。すべて本学ウェブサイト上でご確認ください。

学生募集要項等の種別	発表時期
入学者選抜要項（本冊子）	7月上旬
総合型選抜学生募集要項（本学ウェブサイトへの掲載のみ）	7月中旬
学校推薦型選抜学生募集要項（本学ウェブサイトへの掲載のみ）	7月中旬
一般選抜学生募集要項（本学ウェブサイトへの掲載のみ）	11月中旬
私費外国人留学生選抜学生募集要項（本学ウェブサイトへの掲載のみ）	10月下旬

2. 大学案内、入学者選抜要項の請求方法

(1) テレメールで請求する場合

- ① テレメールのサイトにアクセスしてください。

インターネット	https://telemail.jp	右の二次元コードからアクセスした場合、資料請求番号の入力は不要。 
---------	---	---

- ② 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資 料 名	資料請求番号	料金（送料含）※
大学案内	561222	215円
入学者選抜要項	581222	180円
入学者選抜要項・大学案内	561202	250円

※ 料金は変更になる場合があります。

- ③ ガイダンスに従ってお届け先を登録してください。テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。

※ 資料は通常、発送からおおむね3～5日後にお届けできます。土曜・日曜や祝日をまたぐ場合はお届けが遅くなる場合があります。また、地域や郵便事情によってはお届けに1週間程度要する場合があります。なお、16時00分までの受付は当日発送、16時00分以降の受付は翌日発送となります。1週間以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。

発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。

※ 料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要です（コンビニ払い、LINE Pay 請求書支払い、au PAY 請求書支払いは118円、携帯キャリア払い、クレジットカード払い、PayPay は30円）。また、携帯キャリア払い、PayPay、クレジットカード払い、コンビニ払いは、1回分の手数料で複数の資料の料金をまとめて支払うこともできます。

※ 資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管をお願いします。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ

テレメールカスタマーセンター IP 電話 050-8601-0102（受付時間 9：30～18：00）

※テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロムページが管理運営しています。

(2) 大学ウェブサイトから請求する場合

テレメール等を利用して大学案内等の資料を請求する方法については、本学ウェブサイトの「入試情報」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/seikyuu.html>）をご覧ください。

(3) 大学の窓口で請求する場合

福島大学入試課の窓口で配布をしていますので、窓口で直接受け取ることができます。

窓口時間：平日 9：00～17：00

3. 入学試験に関する情報提供について

入学試験に関する情報については、本学ウェブサイトの「入試情報」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）で随時公開しています。

4. 入試に関する問い合わせ先

福島大学入試課 ☎ 024-548-8064（平日 9：00～17：00）

（問い合わせは、できるだけ入学志願者本人が行ってください。）

5 東日本大震災(原発事故含む)および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

本学では、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故、および平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、令和5年度に行われる全ての入試において、検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

(1) 対象者

出願期間までに、次のいずれかに該当すると認められた本学入学志願者については、検定料を全額免除します。

- ① 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、本人または主たる家計支持者が居住していた家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失の罹災と認定された方
 - ② 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、主たる家計支持者が死亡または行方不明となった方
 - ③ 東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて設定された「警戒区域」、「計画的避難区域」、「緊急時避難準備区域」、「特定避難勧奨地点」に平成23年3月11日時点で本人または主たる家計支持者が居住していた方で、これに伴い避難を余儀なくされた方
- 上記免除対象者の詳細については以下の表をご確認ください。

区 分	検定料免除の可否（可は○、否は×で示しています）				
①家屋の全・半壊	全 壊	大規模半壊	半 壊	流 失	一部損壊
	○				×
②主たる家計支持者が死亡または行方不明	主たる家計支持者				主たる家計支持者以外
	○				×
③原発事故による影響	警戒区域	計画的避難区域	緊急時避難準備区域	特定避難勧奨地点	それ以外の地域
	○				×

注：区域については、再編前の区域としています。

(2) 必要書類

検定料免除を申請するにあたって必要な書類は以下のとおりです。

① 検定料免除申請書（本学所定の様式）

本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>)参照

② 次に挙げる証明書のいずれか一つの写し

上記(1)①に該当する場合、「市町村長が発行する罹災証明書」

上記(1)②に該当する場合、「主たる家計支持者の死亡または行方不明を確認できる書類」

上記(1)③に該当する場合、「避難している(いた)ことが確認できる書類」(自己申立書でも可)

(3) 必要書類の提出方法と提出期間

出願期間中に書類と合わせて提出してください。

なお、検定料免除申請を行う場合は、出願時に「検定料」を払い込まないでください。

※ 出願期間後の申請は認められませんので、ご注意ください。

6 令和7年度福島大学入学者選抜（令和6年度実施）の見直しに関する予告について

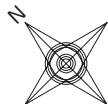
本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に最新の情報を掲載していますので、ご覧ください。



7 その他

新型コロナウイルス感染状況等により、令和6年度入試において変更が生じた場合は、本学ウェブサイト「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)で随時お知らせします。

福島大学案内図



入試課 (1F)

受験に関する掲示板

試験室案内など詳細については、中央広場の「受験に関する掲示板」に掲示します。

至福島・仙台

JR金谷川駅

かな や がわ
JR東北本線金谷川駅下車
中央広場まで徒歩約10分



国立大学法人

福島大学

Fukushima University